



これからの10年にむけて

あと10年で2025年を迎えます。団塊の世代が後期高齢者をむかえるとき、年間の死亡者が150万人を越えることが予想されています。これに対して、国の施策として、地域包括ケアが謳われ、医療と介護の連携を行いながら、安心して住み慣れた地域で最後まで過ごせるように話し合いがなされています。しかし、具体的に人生の最終段階を迎えた人とその家族の支援を学ぶ機会はほとんどありません。私は緩和ケアに20年間携わりながら、痛みを和らげるだけではなく、最期に立ち会うだけではなく、避けることのできない死を前にした苦しみに対する援助の可能性を学んできました。この緩和ケアで学んだ援助を、これから住み慣れた地域で人生の最終段階の人とその家族に関わろうとする人に、広く伝えて行くための組織が必要であると感じ、来春頃を目標に、家元制度を参考に“人生の最終段階に対応できる人材育成を目的とした協会（名称は未定）”を立ち上げる準備に入ります。まだ未確定要素が多く、順調に立ち上げられるかは未定ですが、残された時間が限られていることを考えると、是非形にしたいと願っています。

この協会の目的は、どこに住んでいても、どんな病気でも安心して人生の最期を過ごせる社会を目指すことです。具体的には、医療・介護従事者向けに人生の最終段階を迎えた人とその家族の支援にあたる人材を育成すること、一般市民向けに啓発活動を行うこと、さらには、理不尽な苦しみと向き合う文化を創造するための“いのちの授業”を行うことを目的とします。具体的な活動としては、人生の最終段階に対応できる人材養成講座（JSP養成講座）を全国で開催できるためのシステムを構築していきたいと思えます。特に医療・介護従事者向けの養成講座は、多死時代に向けた人材育成として大切な事業となります。

養成講座を、私だけが行えるのでは、広がりには限界があります。教育カリキュラムのパッケージ化を行い、私以外の人々が、きちんと伝えることができるように整備をします。特に課題となるのは、継続して各地域で養成講座が開催されるためのシステムです。ボランティアで伝えて行くには、あまりにも伝える人の負担が大きいこと、行政からの補助金頼みでは、社会保障費の高騰などより確実ではないことが懸念されます。魅力のある教育プログラムであれば、参加費などを頂いたうえで、認定講師が十分な報酬を頂きながら、継続性を持って大切なテーマを伝え続けることができるでしょう。そして、5年以内に各都道府県に養成講座を開講できるようにしたいと思います。そして2025年までには、JSP養成講座で学んだ人が、それぞれの地域包括ケアの中で活躍することを夢としたいと思います。

2015年2月にはJSP養成講座の2期を開講します。そこでの結果を基に再度教育プログラムを吟味したうえで、2015年4月を目標に協会を立ち上げようと思えます。JSP養成講座を各地域で展開するための一歩と考えています。もし、この養成講座の開催に関心のある有志がおりましたら、是非お声かけ下さい。協会の認定講師として、人生の最終段階に対応できる人材育成に取り組み、やがて来る多死時代に備えたいと思えます。あと10年しかありません。待たないで、準備を急ぎたいと思えます。

（小澤竹俊）

JSP養成講座による参加者の困難感の変化

2014年7月から10月にかけて医療・介護従事者を対象にJSP養成講座を開催しました。参加した人で評価できた27名（男性11名、女性16名、平均年齢47歳、医療職6名、介護職21名）を対象に看取りに対する困難感について評価を行いました。10項目の評価尺度において9項目において有意に困難感の改善を得ました（これからの身体の変化に答えることができる、前 3.6 ± 1.2 、後 4.4 ± 0.9 ※ $p < 0.01$ 、経口摂取・経管栄養・点滴など、栄養摂取についての意志決定支援を行うことができる、前 3.5 ± 1.2 、後 4.3 ± 0.8 ※ $p < 0.001$ 、苦しんでいるとき、予測された指示による症状緩和の薬を用いる事ができる、前 3.0 ± 1.4 、後 4.2 ± 1.2 ※ $p < 0.01$ 、具体的にどのように関わってよいかわからない、前 3.6 ± 1.2 後 2.5 ± 0.9 ※ $p < 0.01$ など）。JSP養成講座の教育プログラムは有意に看取り対応の困難感を改善する結果となりました。この結果は2015年4月に京都で開催される日本内科学会総会で発表を予定しています。

映画『生まれる ずっと、いっしょ』公開！

2014年11月より映画「生まれる ずっと、いっしょ」がいよいよ公開されます。神奈川県では、109シネマズMM横浜で11月22日より、海老名イオンシネマでは2015年1月10日から23日の2週間限定で公開されます。期間限定の上映になりますので、是非皆様、映画館に足を運んで下さい。それと、ハンカチも忘れないように…。



診療実績

	2006-2013年	2014年1~6月	2014年7月	2014年8月	2014年9月	2014年10月	2014年計	総計
訪問回数	26,421	2,808	539	520	616	576	5,059	31,480
自宅永眠	1,087	94	19	13	23	16	165	1,252
施設永眠	96	15	1	4	4	2	26	122
在宅（自宅+施設）	1,183	109	20	17	27	18	191	1,374
病院永眠	288	18	5	1	4	6	34	322